

久留米市 雇用優良事業所表彰

高齢者・障害者の積極的雇用、仕事と家庭の両立支援などを積極的に行っている市内事業所を表彰することにより、地域の雇用促進・安定に資することを目的とし、昭和53年から実施しています。平成22年度の受賞事業所は1事業所です。

久留米市 技能奨励者表彰

技能奨励者表彰制度は、地域における技能向上及び技能尊重の機運を醸成し、技能者の社会的・経済的地位の向上と地域産業の発展に資することを目的としています。優れた技能を有する方に「久留米市技能功労士」「久留米市技能優秀士」「久留米市青年技能優秀士」の称号を贈るものです。

平成22年度の受賞者は、技能功労士9名、技能優秀士6名、青年技能優秀士4名の計19名です。

障害者雇用優良事業所

社会福祉法人はぜの実会 (医療、福祉 山本町)

- 業種／医療、福祉
- 常用労働者数／95人(男性29人、女性66人)
- 所在地／久留米市山本町豊田2061-1

取組み内容

- ① 重度知的障害者1名、精神障害者1名、身体障害者1名と、法定雇用率を超える3名を雇用
- ② 個々の障害の特性への配慮、能力・適性に応じた人事管理・業務分担を行うなど、働きやすい職場環境を整備
- ③ 今後も仕事の能力を重視し、障害の有無に関係なく雇用していく方針

障害は一人ひとりの個性

「それぞれの皆さまの歴史や環境を思い、お一人おひとりの個性を受け止めて、寄り添いながらともに日々を重ねています」

これは、施設入居者の皆さまに対する、また施設で働くスタッフに対する藤村英樹理事長の運営方針です。「あえて障害のある方を雇用したという意識はなく、障害は『個性』であるという受け止め方をしています。いろんな個性をもつ人はたくさんいるのだから、本人のできることを一生懸命やれる人ならいいと思います」と、人事採用担当でもある三島和子施設長は話されます。勤務時間についても、通勤に本数の少ない電車やバスを利用する場合は、障害に応じた配慮がなされています。

重度知的障害のある諸永耕一さんは平成18年7月からの雇用。週に約32時間勤務で、ケアハウスの清掃・厨房補助などを主に担当しています。

「仕事は時間に追われることなく自分のペースでできるし、入居者の皆さんと挨拶や会話ができるのが楽しみ。また、理事長をはじめスタッフの皆さんは柔らかに接して下さるので働きやすい職場です」と話される諸永さんにとって、きれいな性格が活かせる、やりがいのある職場となっています。

精神障害のある大城伸行さんは平成22年の3月からの雇用。週に40時間勤務で、特別養護老人ホームの介護職員として働いています。

「幹部と介護職員との関係は、～しなければならぬという命令方式ではなく、それぞれの役割を果たし皆一緒にやってみようという雰囲気の中で働きやすい職場です。入居者の皆さんが喜んでいる顔を見た時や、会話ができない方も心が通い合う瞬間が嬉しい。今後は、もっと介護の勉強をして介護福祉士の資格を取り、ここに入居してよかったと思ってもらえるようにサポートしていきたいと思っています」

こう話される大城さんは、入居者にもスタッフにも障害についてはオープンにしており、周囲に理解された上で楽しく働かれています。

このように、はぜの実会では、今後も障害に対しては配慮しつつも仕事の能力に基づいた雇用を続けていく考えです。



社会福祉法人 はぜの実会
藤村英樹 理事長



三島和子 施設長



大城伸行さん(左)と諸永耕一さん(右)

技能功労士



板金工 39年 磯端板金工業

磯端 誠次 さん (58歳 東合川町)

ずっと付き合いたい銅版製作

純日本住宅の伝統的な工法である銅版葺(ぶ)きにおいて高い技術を有している。寺社仏閣建築の屋根に見られる銅版屋根の箕甲(みのこ)葺(ぶ)き、鬼鋸(おにかざり)の製作では古来工法を駆使し、美しさ、繊細さ、精度は県内でも評価が高い。ラッパの製作加工や明治後期のリードパイプ吹風琴の製作加工など伝統的工法を継承。銅版製の鶴・亀や看板、表札など市内で唯一の彫金製作者。芸術的なセンス、希少な技能は高い評価を得ている。

技能功労士



左官職 40年 井上左官工業

井上 泰彦 さん (55歳 野中町)

昔の素材に新たな息吹をかける

木造建築左官工事に長年従事。古い建物からは建築当時使用していた土を採取し練り直し、足りない部分は性質の似た土を調査し、当時の風合いを損なわず、廃材が出ないように工事を行うなど、左官業におけるすべての伝統技能を会得。青木繁旧居、坂本繁二郎生家の復元工事を行った。長きに亘り市左官業協同組合理事を務め、若年技能者に対し貴重な左官の技法を指導するとともに、地域では土だんご作り教室を開催し、子どもたちに左官業への興味・関心を持たせる取り組みにも尽力している。

技能功労士



製靴用金型製作工 40年 株式会社ムーンスター

川嶋 光利 さん (59歳 八女市)

高い技能で手がけた金型は海外でも使用

製靴関連金型の加工・仕上げ業務に長年従事。なかでも射出(しゃしゅつ)成型(せいけい)用の金型製作や靴外底ゴムのプレス金型の製作に関して高い技術力を有している。特に金型の表面を滑らかに仕上げることや、本革の表面のような風合いを出すテクニックにおいては卓越した技術を持つ。また工程間の無駄を無くす「ブラザーでの助け合い作業」に率先して取り組み、機械靴金型の改良により生産現場の作業効率をアップさせるなど、高度な技術と専門的知識に加え製作工程の管理能力に優れている。

技能功労士



写真師 44年 サンスタジオ

坂本 光明 さん (64歳 小頭町)

若手を育てるのがベテラン写真師の役目

筑後地区写真文化協会会長、久留米写真師会会長を務め、写真撮影業に長年従事。撮影・プリント処理作業における能力は高く、特に肖像写真等、人物の深みのある内面からの心情を画面上において表現。また、写真撮影のデジタル化に応じた研究に努め、新しい表現スタイルの開発に取り組んでいる。若手育成にも力を入れ、撮影研究会、デジタル処理セミナーなどを開催。「本当に良い写真をつくり若手を育てるのが私の役目」と、話しています。